

中学生の「税についての作文」

〔公益社団法人御坊納税協会 最優秀賞〕

〔和歌山県納税貯蓄組合総連合会 会長賞〕

「税」が

支える社会」

日高等学校

附属中学校2年

寺井 敦基



た商品券を大切に使用したいと思った。

税の使われ方で今、厳しい目を向けられているのが、東京五輪、パラリンピックの開催経費だ。僕は新聞を読み、この事を知った。コロナ禍という想定外の災難に見舞われたとはいえず、当初予定の約二倍に膨らんだという。施設の整備や警備、輸送に関する費用、開催延期で本来は不要だった施設使用料や人件費などがかさんだ。これから国立競技場と東京都の新設施設の活用が課題となっている。様々な施設の維持も「税」がなければ成り立たない。民間に運営権を売却する方法もあるが、今後僕達も気軽に行けるような施設であってほしいと思う。

令和四年四月、知床半島沖で遊覧船が沈没した。この事故で乗船した方の命が奪われ、今も行方不明者がいる。広大な海での救助活動は難航した。ご家族の気持ちを考えていたたまりない。夏になると特に多発する水難事故。僕は日本の救助体制に脱帽した。特殊な訓練を受けた救助隊の方が人命救助などの

活動にあたっては本当にかっこいいし尊敬できる。僕達が事故や病気などで一刻を争う状況の時、救急要請できるのは「税」のお陰だ。しかし誤通報やいたずらもあると知った。最近では、新型コロナウイルス感染症と熱中症で救急車の数が足りていないそう。自己負担がないからこそ適切に通報するべきである。

今、僕の生活は「税」で支えられている。もし「税」がなかったらと考えると、とても不安になった。何気なく過ごしてきた事を見直し、どのように使われているのかをこれからも、考えたい。今日、日本や世界で何が起きたか。それにより、税金がどのように使われるのか。テレビ、新聞、インターネットから得られる情報にアンテナを張り、関心を持って生活したい。将来は、僕達が社会を支える立場になる。これからも、「税」を通じて正しく理解し、少しでも社会に貢献できるようにしたいと思う。

先日、毎月各世帯に配布される町の広報を読んだ。改めて事が沢山あった。生活を支援する為の情報や手続きの申請に関する事など僕達の生活に欠かせない情報だった。その中でも、僕が新たに得た事は、コロナ禍の町民への生活支援として、六ヶ月間の水道料金減免と中学校給食費の免除、農業、漁業従事者への燃油支援等が決まったという内容だった。とても有難い事だと思った。広報も税によって作成されている。これからも、自分の町の情報を知るために毎月読みたいと思う。また、五月末に届いた「地域応援商品券」は、昨年も届けられ、第二弾だった。この商品券のお陰で町のお店を知る事ができ、買い物をする楽しみができたと思う。町の経済効果に繋がれば嬉しい事だ。「税」によって頂

〔御坊税務署 優秀賞〕

〔和歌山県納税貯蓄組合総連合会 会長賞〕

「税金の

奥深さについて」

日高中学校3年

林 千尋



「税金」と聞くと、自分のものが奪われてしまうような、そんなマイナスの印象を抱く人も少なくはないだろう。例えば、国のためばかりに使われていて国民のためになっていないとか、政治家の給料にばかりなっているとか。このように、税金について悪印象を抱き、否定的な考えを持ってしまっているのは税金の使われ方をよく分かっていないからだとは私には考えられない。税金は国債の返済のために使われたり、公務員の給与にまつたりしているが、私たちの生活のためにだつて使われている。

私たち学生に身近な例を挙げると、中学生や小学生の学費や学校の設備などが税金で賄われている。また、図書館で本を無料で借りることができるのも税金があるおかげである。私はよく図書館を利用するので、この

ことを知って「税金はこんなところにも使われていたんだ」と驚くと同時に、税金のおかげでたくさんのお金を借りることができていたと分かって素直に嬉しかった。それだけでなく、舗装された道路や街灯、信号機なども私たちが安全に生活するために税金を用いて作られたものである。更に、税金の用途はこれ

らだけに留まらず、二年間続いているコロナ禍の中で多くの人が助けられたであろう、新型コロナウイルス関連の補助金や給付金なども税金によつてもたらされたものだ。それだけでなく、コロナウイルス予防のためのワクチンも税金によつて購入されたそうである。そのおかげで私たちはワクチンを無料で接種することができ、今も猛威を振るい感染者を増やし、私たちの生活を脅かし続けるコロナウイルスに

対し、少しでも心に余裕を持つて過ごすことができる。税金は、私たちが安全な日常生活を享受するためにあるといえる。

このように、税金は私たちにとって非常に役立つものであり、今の生活を続ける上で重要な鍵である存在なのだ。だから今、税金について悪い印象を持つていた人も税金の恩恵を知ることができれば、自分たちの生活のために必要な対価であると感ぜられるだろう。

つまり、私たちが税金を納めるのは、国民の義務であり、未来への投資だと考える。私たちは耳を傾け、税金と対等な関係であることを理解する必要があるだろう。そして、これから大人になっていく私たちは、税金の必要性について次の世代の人々に伝えていかなければならないと思う。この作文を通して、それが今を生きる私たちの一つの役目であると感じた。私たちが納めていく税金によつて、これからの社会が未来の子ども達のために少しでも希望のある方向に向かっていってほしい。